



三種町

議会だより

令和7年
5月1日発行

第77号

豊
か
な
く
ら
し
を
未
来
に
つ
な
ぐ

令和7年度当初予算

豊かなくらしを未来につなぐ 2

一般質問 9人が16項目を質す 8

統合小・中通学路の安全を 18

ぼくたち・わたしたちの声
まちかどインタビュー 20

※表紙は生成AIで「梅公園」をイメージして作成しておりますので、実際のものとは異なります。

発行：三種町議会

豊かなくらしを未来につなぐ

一般廃棄物処理施設整備事業負担金

能代山本広域市町村圏組合による南部清掃工場と北部粗大ごみ処理工場を集約した新たなごみ処理施設（能代市竹生地区）の建設にかかる負担金を支出する。

事業費 12億1022万2千円



中学校建設費

令和8年度三種中学校開校に向け、統合中学校校舎建築工事やスクールバス購入などにかかる予算を計上した。

事業費 44億6026万8千円



八竜大口住宅屋根塗装工事

町営住宅長寿命化計画修繕事業により八竜大口住宅の2棟（4戸）の屋根塗装工事を行う。

事業費 932万円



ふるさと納税推進事業

寄付金受付・管理、返礼品発注・発送などを行う。

事業費 6143万6千円



令和7年度 当初予算

一般会計	159億2990万7千円	原案可決
国民健康保険事業勘定特別会計	19億1057万3千円	原案可決
後期高齢者医療特別会計	2億7303万6千円	原案可決
介護保険事業勘定特別会計	27億9632万4千円	原案可決
介護サービス事業勘定特別会計	1150万8千円	原案可決
温泉事業特別会計	1608万6千円	原案可決
水道事業会計	4億818万3千円	原案可決
下水道事業会計	11億6679万3千円	原案可決

賛否の分かれた 採決結果	結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		畠 山 勝 巳	三 浦 敦	高 橋 満	平 賀 真	成 田 光 一	遠 藤 勝 昭	児 玉 儀 広	森 山 大 輔	伊 藤 千 作	清 水 欣 也	荒 谷 要 伸	三 村 眞	小 澤 高 道	堺 谷 直 樹
一般会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	委
国民健康保険事業勘定特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	委

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 委…委員長（採決に加わりません）

付帯意見

◆見積・精査を
堅実に予算化せよ

漁業振興計画策定業務の関係経費である報償費及び旅費について、計画検討委員の人数・人選、または、視察先等の詳細が未定のまま予算化されている。そのため、当該予算が効果的に執行されるよう、計画策定に向けたロードマップを早期にまとめられたい。

◆債務の拡大抑制・
計画的な償還を

令和7年度一般会計予算においては、一般廃棄物処理事業債や学校教育施設等整備事業債といった多額起債により、地方債現在高見込額が大きく膨れ上がっている。これ以上の債務拡大を抑えるとともに、計画的な償還を進め、住民サービスの低下や将来世代に過大な負担を残さないよう財政運営に努められることを強く求める。

予算特別委員会審査

令和7年度予算は、全議員（15人）で構成される予算特別委員会（委員長・堺谷直樹、副委員長・森山大輔）に付託され、3月4日、5日、10日に審査されました。

三種町の活性化の一助に

問 地域おこし協力隊業務について、協力隊の身分は。

また、新規募集の業務内容は。

答 会計年度任用職員としての申出がない限り、業務委託としている。新規募集については、情報発信業務2人、定住に関するフリーミッション1人を予定している。

補助金の利用率増加へ

問 おらほの敬老交流会等補助金について、利用者数は増えているか。

答 敬老交流会については、907人の利用見込み（利用率16・6％）で令和5年度比34・8％の増となっており、敬老記念品については、1,887人の利用見込み（利用率34・4％）で5年度比20％の増となっている。

支援員は児童数を勘案して配置している

問 児童クラブの会計年度任用職員について、発達障害児に対応できる専門職は含まれているか。

答 含まれていないため、必要に応じ支援員増員などの措置を考えている。

問 児童クラブにおける支援員の配置状況は。

答 放課後児童支援員の数は、支援の単位ごと（概ね40人以下）に2人以上とすると定められており、低学年の児童数や特に支援を必要とする児童数を町で勘案しながら適正に配置している。

また、令和7年度においても支援員に過度な負担がかからないよう、必要に応じて増員も検討する必要があると考えている。

全町保育園給食費無償

問 保育園児副食費について、本町における取り扱い。

答 町内の保育園において主食費、副食費ともに無償としている。

放課後等デイサービス利用者増加

問 障害児給付費増額の要因の一つは、町内の施設における放課後等デイサービスの利用者の増加によるものか。

答 町内の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の登録人数について、児童発達支援は13人、放課後等デ

イサービスは6人であり、給付費の増額を見込んでいる。



令和6年11月に開設された町内の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所

(みっしゅ)
更なる来場を望む

問 記念品について、子育て支援センター来場者への配付の条件は。

答 一定の利用数を超えた方（町内外）に記念品として三種町商品券を配付する。

**危険空き家調査を
データベース化へ**

問 危険空き家調査業務の内容は。

答 令和7年度に、全町で実施する調査により空き家の傷み具合や周囲への影響等を判定したものをデータベース化する。

**5年に1度の橋梁点検
7年度は47橋を点検**

問 橋梁定期点検業務の令和7年度における計画は。

答 5年に1度点検を行い、3巡目となる7年度は47橋を点検する計画である。

**予算増は物価高の
影響もあり**

問 サンドクラフト補助金について、令和6年度予算から350万円増額した理由は。

答 砂像に係る土木工事費について、物価高騰などの影響もあり、増大しているものである。

**屋外遊具新設の考
えは**

問 ゆめっぴい遊具撤去工事に関連し、屋外遊具新設の計画は。

答 遊具を公共施設と捉えた計画はなく、遊具の更新・撤去は、子どもの数や利用率など

をその都度考慮して検討する。

**高性能機械導入支
援事業予算減額**

問 地域でまもる高性能機械導入支援事業について、令和6年度予算額より500万円減額した理由は。

答 6年度は、事業の対象となる約70団体のうち、20団体が事業を実施しており、7年度予算については、対象者への聞き取りによる事業要望数に合わせた予算措置をしている。

**水産業の所得向上
をめざす**

問 漁業振興計画策定業務について、計画の策定方法は。

答 今後の新たな漁業振興を図るため、検討委員会において協議された計画の策定支援をする業者へ委託するものである。

**子どもの学びと成
長を手厚く支援**

問 特別支援教育支援員は、不登校対策も含めて十分な人数を配置

しているという認識でよいか。

答 特別支援教育支援員の職務では、不登校対策に関することは行っておらず、児童生徒の学びを支える支援スタッフや特別教育相談員を中心に相談・支援・援助するほか、各校内においても担当教員を置いて対応することとしている。

さらに、県から会計年度任用職員として町に配置されているスクールカウンセラー3人、山本出張所に配置されたスクールソーシャルワーカー2人、北教育事務所とも連携し、町だけでは人数が足りない分は県全体で補っていくこととしている。



撤去予定のゆめっぴいの遊具

3月議会定例会議案審議

一般会計

結婚祝金

問 増額補正の理由は、婚姻数が想定を上回ったためか。

答 そのとおりである。

予算編成時、10組程度と見込んでいたが、令和7年3月末までに3組程度増えると見込んで補正している。

障害福祉サービス費

問 費用を増額計上した理由は。

答 障害福祉サービスの新規利用者が増加したためである。

170人の利用を見込んで予算措置していたが、現在の利用者は180人となっている。

定期個別予防接種

問 減額の理由は。

答 新型コロナウイルススワクチンの65歳以上の摂取率が約16%であったため、大幅に減額している。

物品受払収入

問 土砂の受払収入について、詳細は。

答 町有地である芦崎地区内の土砂であり、令和6年度は、5259㎡売り払いしている。

雑入

問 秋田県後期高齢者医療広域連合による歳入の減額理由は。

答 秋田県後期高齢者医療広域連合に派遣している当町の職員の人件費分としていただいている。

三種町手数料徴収条例

問 興行場経営許可申請手数料の概要は。

答 映画館やスポーツ、演劇などを行う施設を開設するための申請にかかる事務手続きについて、県から事務手続きの権限委譲を受けているものである。

介護保険事業勘定特別会計

問 予備費を増額補正している理由は。

答 地域密着型介護サービス給付費や施設介護サービス給付費などが増額となっており、保険料や国・県の負担金を充当しているが、不足分について予備費から支出するものである。

3月定例会で審議された議案

報 告	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定に関する件）	原案可決
	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定に関する件）	原案可決
予算補正	令和6年度三種町一般会計予算の補正について	原案可決
	令和6年度三種町国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正について	原案可決
	令和6年度三種町後期高齢者医療特別会計予算の補正について	原案可決
	令和6年度三種町介護保険事業勘定特別会計予算の補正について	原案可決
	令和6年度三種町介護サービス事業勘定特別会計予算の補正について	原案可決
	令和6年度三種町温泉事業特別会計予算の補正について	原案可決
	令和6年度三種町水道事業会計予算の補正について	原案可決
	令和6年度三種町下水道事業会計予算の補正について	原案可決

条 例	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
	三種町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び三種町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
	三種町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
	三種町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
	三種町手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
	三種町牧野使用料徴収条例の一部改正について	原案可決
	三種町営住宅の設置及び管理に関する条例及び三種町営単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
	三種町児童公園及び児童遊園地設置条例の一部改正について	原案可決
	三種町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
	三種町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
	三種町住民共助等運行事業条例の一部改正について	原案可決
	指定管理者の指定について（すいらんの館）	原案可決
	三種町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決

単 行	工事請負契約の一部変更について（山本中学校擁壁補修工事）	原案可決
-----	------------------------------	------

陳 情	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	採 択
	「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書	不 採 択
	デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出についての陳情書	不 採 択

賛否の分かれた 採決結果		結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			畠 山 勝 巳	三 浦 敦	高 橋 満	平 賀 真	成 田 光 一	遠 藤 勝 昭	児 玉 儀 広	森 山 大 輔	伊 藤 千 作	清 水 欣 也	荒 谷 要 伸	三 村 眞	小 澤 高 道	堺 谷 直 樹	加 藤 彦 次 郎
「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書		不採択	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	議

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 議…議長（採決に加わりません）

9 議員が登壇

16 項目を^{ただ}質す

質 問 者

- | | |
|---------------------|---|
| P 9 荒谷 要伸 議員 | ○住民に優しい除雪について
○空家問題について |
| P10 清水 欣也 議員 | ○三種町における介護の諸問題について |
| P11 三村 眞 議員 | ○「三種町こども家庭センター」の評価等と今後について |
| P12 森山 大輔 議員 | ○個別避難計画と自主防災組織
○水田圃場整備
○住み続けたい街3年連続全県一位 |
| P13 堺谷 直樹 議員 | ○ごみ処理について |
| P14 成田 光一 議員 | ○八竜運動公園の整備と在り方について |
| P15 畠山 勝巳 議員 | ○「三種町ふれあいバス」の現状と今後の課題について
○ナカショク繁殖農場公害対策について |
| P16 平賀 眞 議員 | ○小中学校統合後の通学路の安全を問う
○児童生徒に対しスマホの利用の指導は行われているのか |
| P17 伊藤 千作 議員 | ○学校体育館へのエアコンの設置を
○高齢者世帯、生活保護世帯へのエアコン購入、設置補助を
●自治体の災害対応と備蓄対策について |

※●印の質問については、誌面の都合上掲載できなかったものです。
おって町ホームページに会議録を掲載しますので、そちらをご覧ください。

一般質問は3月12日、13日に行われました。

一般質問とは、年4回の議会定例会において行われます。

議題とは関係なく、議員が町政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。

通告制が採用されており、通告（質問の届出）は、議員個人の判断によります。

問 住民に優しい除雪は出来ないか

答 配慮しながら除雪作業をする

問 雪が降る時期になると必ず除雪車の話題になるが除排雪作業は想像以上に大変である。

雪を置かない除雪は出来な
ないか。

町長 除雪オペレーターも配慮し作業している。住宅入口前の除雪は、各家庭での雪寄せの協力をお願いしている。

町長 高齢者や自分です
排雪出来ない方はシル
バー人材センターで除
排雪してもらうが、大
雪で手が回らないとき
や、年末年始の対応は。

町長 高齢者世帯等除
排雪支援事業は令和7
年1月末時点で、748
世帯が利用登録されて
いる。シルバー人材セ
ンターでは、92人体制
で作業を行っている。

降雪状況などから、作
業の開始時間を早め、
作業員同士で連携協力
するなど利用者の日常
生活の支障にならない
よう作業に当たってい
る。

年末年始は原則休みにしているが、降雪の状況により作業員が判断し除排雪を行なうこともある。

今後の空き家の対応は

問 空き家が増加傾向にある。管理不全状態の空き家が雪の重みで倒壊したり強風でトタンなど飛散したりと近隣に危害のおそれがあるが、対応は。

課長等 7年度に実施する空き家全量調査後にデータベース化を行った後、対象となる空き家所有者に対し行政指導を行っていく。



あらや 荒谷 ようしん 要伸 議員



住民のために優しい除雪を

問 在宅介護慰労金の大幅増額を

答 担当課と相談し方向を決めたい



しみず 清水 ぎんや 欣也 議員

問 介護保険制度ができて25年が経過したが、三種町には介護保険事業や介護予防事業においてどのような課題や問題があると認識しているか。

町長 町内の介護保険事業所を対象にしたアンケート調査では、経営赤字の上昇や介護職員の確保の問題が浮き上がっている。



令和6年度に開催した認知症予防教室での椅子ヨガ

問 介護保険事業所の衰退は、介護保険制度の崩壊に繋がるおそれがある。

町長 地域の介護体制の維持という観点から、介護事業者への支援は保険者としての基本的姿勢でなければならぬと思うが、どうか。

町長 施設設備の老朽化や介護職員の不足、利用者の減少など、経営が厳しくなっていく状況にあることは十分承知しており、今後、町として対応を検討していく。

問 今後、在宅介護支援の重要性が増していくと思う。国も町もその方向性で施策を展開している。

町長 在宅介護支援を充実する施策の1つとして、介護保険を使わないで自宅で要介護度の高い

高齢者などをお世話している家族に対する慰労金を大幅に増やすべきであると思うが、どうか。

課長等 近隣市町村の実施状況を勘案しながら検討する。

町長 担当課と相談の上、方向を決めたい。

問 特別養護老人ホームの空き室を待つ家族は相当数に上る。懸案の待機問題の改善に向けた施策を検討する考えはないか。

課長等 現段階では対策は考えていない。引き続き、待機者の推移や町民の利用状況などを注視していく。

問 子どもに特化した部局の新設は

答 今後検討しながら前に進みたい

問 こども家庭センター全体としての評価と効果はどうか。

にはこども福祉係が設置されているが、事業などのすみ分けはどうなっているのか。

町長 単年度スパンではなく、一定期間の積み重ねによって見えてくるものと考えている。

町長 子育て支援係が母子保健、児童福祉部門の連携を図り、切れ目のない支援を行っている。こども福祉係は、就学前の子どもの教

問 健康推進課に子育て世代支援係、福祉課

育・保育に関することなどの行政サービスを担当している。

問 新規事業として考えていることはあるか。

課長等 利用促進を図る観点で、利用ポイント制度をスタートさせたいと考えている。

問 ポイント制度の利点や今後の方向性は。

課長等 子育て支援センターを利用すると、一定のポイントを付与する。たまったポイントで三種町共通商品券をプレゼントしたいと考えている。



三種町こども家庭センターの効果や評価は

問 専門職の配置で、本町で助産師は足りているのか。

課長等 職種としては、助産師の配置について現状として検討していない。

問 民間事業所と連携して母子保健などの事業を進めていく考えは。

課長等 事業の拡充は考えていない。現状の体制で十分対応できるため、伴走型支援とい

問 多くの自治体で子どもに特化した部局があるが、本町では今後部局を新設する考えはあるのか。

うことでは、民間の活用は難しく、町の保健師などで関わっていく。

町長 将来、子どもに関わることで一体的にやっていくにはいろいろ考えていかなければならない。また、健康推進課、福祉課、それぞれ役割があり、しっかり整理する必要がある。いずれ課のほうとも相談しながら、いい方向に進められればと思っている。今後検討しながら前に行きたいと思うが、時間もかかるためご理解いただきたい。



みむら
三村

まき
眞 議員

問 個別避難計画作成済みの方は

答 名簿登載401人中190人



もりやま だいすけ
森山 大輔 議員

問 自主防災組織の組織率が目標値で7・8%と、全県平均の72・1%と比較して著しく低い。見直す考えは。

町長 県の組織率に近づけるよう、次期目標値を設定したい。

問 個別避難実施者の選定基準と確保状況は。

町長 ご本人や家族に選定していただく。困難な場合は関係者と調整しながら定める。

問 医療的支援が必要な方への支援計画は。

町長 具体的な計画はないが、今後関係者と協力しながら検討する。

問 訓練が必要と考えるが、実施する計画は。

町長 平常時の訓練が必要であるため、実施を検討する。

問 受入れ体制の整ったところに一次避難できないか。

課長等 一番近場の避難所へ避難した後、福祉避難所に移っていた。

ほ場整備事業推進

問 水田ほ場整備の状況は。

町長 整備率57・5%

と、県全体の72・6%を大幅に下回っている。

問 整備事業を更に進める考えは。

町長 事業採択に向け、1地区でも多くの合意形成を目指す。

問 検討対象地区は。

課長等 59地区中39地区が検討を希望し、うち4地区が具体的に検討している。

住み続けたい街ランキング1位

問 要因をどう分析しているか。

町長 「自然環境」「教育・保育サービスの充実」「医療・福祉サービスの充実」などいろいろな創造プランのアンケート結果と同様と受

け止めている。

問 住宅の需要予測と供給計画は。

課長等 新たな町営住宅の入居状況を見て、足りなくなれば拡大していく。



総合防災訓練にて要支援者を福祉避難所へ運ぶ様子

問 ゴミ収集日程を維持できるか

答 収集運搬は各地域1社で可能

問 新たなゴミ処理施設が能代市竹生地区に建設中であり、令和8年4月から稼働予定である。今の業者数で現行の収集日程を維持できるか。

おおよそ3時間増える見込みで積算した場合でも、各地域1社で可能と考えている。

問 前期計画においてゴミの減量化がうまく進まない要因をどう捉え、後期計画にどう反映させているか。

町長 町民の意識啓発を推進するとともに、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを推進し、ゴミの減量化と資源化の推進を図る計画で目標設定している。

町長 新ゴミ処理場への運搬距離が延びることにより、作業時間が

問 ゴミ袋の値上げ、あるいは値下げは考えられるか。

町長 新ゴミ処理施設建設費負担金や維持管理負担金などによる町民1人当たりの負担額を考慮すると、ゴミ袋の値上げも検討しなければならぬ。

問 高齢化により分別がうまく出来ない、あるいはゴミステーションまで持っていけない

などの事例が増えてきた場合、町はどう対応するのか。

町長 現時点で町に寄せられる相談は多くなく個別に対応しているが、今後そうした相談が増加した場合は、ゴミ出し支援制度を導入している自治体の例を参考に検討する。

問 町内の小中学生には、循環型社会の推進に向け町独自の環境教育が必要ではないか。

教育長 リデュース、リユース、リサイクルの3Rについて学習を行っている。豊かな環境を維持しつつ、持続可能な社会を構築していくためにも、各学校独自による取組や地域の特色を生かした環境教育を進めていく。



さかいや 堀谷 直樹 議員



新たなゴミ処理場稼働による影響は

問 八竜運動公園の整備とあり方は

答 体育施設のひとつとして検討する



なりた こういち
成田 光一 議員

また、解体による影響が多目的広場を占有して使用するといったものに影響が及ばないことや、占有して使用する場合は主に緑地部が見込まれることから、現在の料金体系を維持していくことが適正である。

問 過去5年に遡っても一度も利用されていない施設をこれまで通り整備していくのでは何も変わらないと思うが、どうか。

課長等 同公園を整備した事業名が「特定地区公園（カントリーパーク）事業」であり、改めて施設が整ったからとか人を増やすためというような概念は今はない。やはり地域の方が使いやすい施設というところに今後も配慮をしていくことが必要だと思う。

問 八竜運動公園の過去5年間の利用団体数は何件か。

教育長 占有しての利用はない。

問 令和6年に老朽化で附属施設が撤去されたため、利用料金を見直すべきではないか。

教育長 今回解体した施設などに係る利用料金については、これまでも設定はない。

問 同公園の今後のあり方について、整備を含めて利用されやすい施設になるよう、見直しをしてはどうか。

教育長 新たな施設や設備を設ける予定はない。これまで通り、草刈りや樹木の整理、清掃などに努めて、ウォーキングや軽スポーツなどで利用される方が、利用しやすい公園であるように努めていく。

問 周辺には公共施設などがある。もっと相互活用できるように議論をすべきではないか。

課長等 町内には各種様々な公園があり、全体を見ながらの位置付けも必要と考える。



利用しやすい施設となるよう見直しを

同公園は体育施設のひとつであり、そういう中での活用というのも含めて検討する必要がある。

問 ふれあいバス運転手の待遇改善は

答 令和7年度は見直しの予定はない

問 運転手の待遇改善は必要ではないか。

課長等 業務委託契約で、金額内容を合意の上実施している。

問 運行団体と年1回以上協議するとなっているが、どのような協議をしているか。

課長等 その時の課題と安全運転のためなど年1回は開催している。

ナカシヨク養豚場の統合について

問 ナカシヨクの養豚場は現在の大口農場と芦崎農場を統合して芦崎に新設するという報告があったが、悪臭対策が十分できるのか。モニター制度は馴染まないとしたが、どんな対策を検討しているのか。

問 ふれあいバスの運転手の年齢制限について、その根拠は何か。

課長等 必要な人数は満たしていると考えている。

町長 運行団体と協議して決めた結果であり

妥当と考えている。

問 利用者は高齢者中心でサービスに熟練が必要になってくる。年齢枠を広げることも検討すべきではないか。

問 現在人数は足りているという認識か。

課長等 継続的にこの仕組みを続けていくため、次の若い人を捜す

きつかけにもしていた

課長等 そのように認識している。

問 双方の合意がなければ運行できないと理解して良いか。

課長等 最低賃金制はクリアしているので、7年度で見直しの予定はない。

問 それも含めて運転手と協議し、合意の必要があると思うのだが、どうか。

課長等 ボランテニア的な面は十分認識しているが、状況を見ながら考えていきたい。

問 一歩前進だと思つ。いつ頃開催予定か。

課長等 7年度に速やかに開催したいと思っている。



はたけやま かつみ
富山 勝巳 議員



ふれあいバス運転手の待遇改善を

問 通学路の安全対策を急げ

答 町単独に通行量の調査を行いたい



ひらが
平賀

まこと
真 議員

問 これまで統合中学校への通学路の危険箇所を指摘してきた。過日、町・議会が道路・信号管理部に要望活動を行ったが、回答は開校後の状況を調査し対応することであった。

中学校開校時の生徒の通学方法は把握されているのか。歌橋から町営住宅経由の県道へ繋がるT字路の危険性は以前指摘したが、今後の対応を伺う。

町長 県道へのT字路は、十字路への改良を検討したが、建物の移転が必要となり、改良は難しい。

教育長 中学校開校時の生徒数は237人（見込み）、スクールバス利用者は156人、自転車と徒歩は57人、自家用車による送迎は24人と見込んでいる。

問 統合中学校、小学校が開校した場合、県道と町道の変則のT字路の危険性を再度指摘する。重大事故が起きた場合、誰が責任をとるのか肝に入れ、今後の計画を進めていたいただきたいが、どうか。

町長 統合後は、交通量がかなり増えていることは十分予測出来る。開校後の調査結果を見ての対応は遅いと思う

ている。

現在の登下校時の交通量を町独自に調査し、早い段階で信号機の設定など、要望活動を強化していく。

指摘された道路の線形改良は必要と認識しており、担当課、県と協議を重ねた上で対応していきたい。



通学路の危険箇所への対応は

児童生徒の携帯・スマホの利用実績は

問 近年、SNSによる犯罪が多発している。児童生徒の携帯電話・スマホの所有率、利用への指導はどのように行っているか。

教育長 小学校高学年の所有率は46・7%、中学校は88・6。道徳や学級活動の時間に警察官や携帯電話会社の社員を講師に招き、使い方や注意点について学んでいる。

問 現在、学校でスマホ・携帯によるいじめなど、確認されている事例があるのか。

課長等 スマホのLINEなどでの事故はあったが、学校、教育委員会、保護者間で話し合っている。

問 学校体育館へのエアコン設置を

答 整備のあり方や制度活用を検討する

問 学校体育館への空調設置が、児童生徒の熱中症対策や避難所の環境改善の観点から急務となっている。令和6年の夏は、1898年の統計開始以来、最高を記録する猛暑となった。

また、頻発している豪雨災害や6年元日に

最大震度7の大地震が北陸地方を襲った能登半島地震など、災害時は学校体育館が避難所となっていることから、環境改善が求められている。

令和4年9月1日現在、公立の小中学校などの体育館などに対するエアコン設置状況

は、わずか15・3%である。これを受けて政府は、令和5年7月31日付で、「避難所における空調設備の設置等について」とする事務連絡を都道府県の防災担当、教育委員会宛に発出している。

学校体育館へのエアコン設置について、どのような思いでいるのか。

教育長 空調設備の整備は、整備に多額の事業費を要し、設置後のランニングコストも高いことが見込まれ、かつ、設置に当たっては、断熱性確保のための工事が必要となるなど課題も多くある。

また、現在、小学校・中学校の統合を進めているところでもあり、これも配慮する必要がある。

空調設備整備臨時特例交付金は、令和15年度までとなっていることから設置については、小中学校の統合が完了してから財政状況や県内市町村の動向なども見据えながら、整備のあり方や制度の活用を検討していきたいと考えている。

エアコン購入・設置補助を

問 高齢世帯、生活保護世帯へのエアコン購入・設置補助についてである。熱中症で救急搬送されている人が毎年数万人を超えている。令和6年の夏は、平均気温が統計開始以来最高を記録する猛暑となり、熱中症予防が欠かせない。体温調整機能が低下している高齢の人、持病のある人、乳幼児などには特別の配慮と注意が必要であり、家庭のエアコンが命綱となっている。

当町として、エアコン未設置もしくは故障して1台も使用できない世帯を対象に給付事業を創設し、設置を進めたらどうか。



伊藤 伊藤 議員

町長 エアコン設置補助については、町に相談・要望などがないことや、介護保険や外出支援、除排雪支援など高齢者に対する施策などの優先度の比較、財政確保の課題もあり、現段階での実施は困難である。



エアコン設置で熱中症対策・避難所の環境改善を

議長と町長が県に要望活動！



～ 統合小・中の通学路の安全対策を～

令和7年2月6日、議長・町長は秋田県議会 佐藤信喜議員のご協力を得て、秋田県庁などで要望活動を行い、「県道能代五城目線の安全対策に関する要望書」を秋田県知事、秋田県公安委員会と秋田県議会議長に提出しました。

県道能代五城目線の安全対策に関する要望書

三種町政の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本町では、令和8年度に町立統合中学校（三種中学校）が開校を迎えます。

さらに、令和9年度には、山本地域の町立森岳小学校と町立金岡小学校が統合し、新たな町立統合小学校として開校します。

三種中学校については、現在の町立山本中学校敷地内に建設を進めており、統合小学校については、現山本中学校を改修して開校します。

この小・中学校の再編に伴い、現山本中学校付近の通学路については、近隣の児童生徒が徒歩・自転車により登下校し、また、保護者による送迎車やスクールバスの往来も急増することが見込まれておりますところ、令和3年度には、学識経験者、民生委員、PTA・保護者会、校長会、自治会代表及び一般公募により構成された「三種町立小・中学校再編準備委員会」から提出された意見書において、安全対策が課題として提言されており、また、地元自治会からは、数年前から町を経て能代警察署へ信号機の改善要望が提出されております。

警察庁の統計資料によると、児童の交通事故は特に下校時間帯が多く、状態別では歩行中・自転車乗用中が大半を占めておりますので、町としましては、教育委員会、学校、そして地域が一体となって通学路の安全確保の充実強化に努めてまいります。

県におかれましても、上記事情をご賢察いただき、児童生徒の通学路となっている県道能代五城目線の安全対策について、三種中学校開校（令和8年度）までにご対応くださるよう要望いたします。

令和7年2月6日

三種町議会議長 加藤彦次郎
三 種 町 長 田 川 政 幸

要望活動は、令和6年12月13日に環境厚生委員会から提出された「秋田県に統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を求める決議」に基づいて行われたため、環境厚生委員長 堺谷直樹が同行し、令和7年3月議会定例会にて派遣結果報告・所管事務調査報告を行っています。（19ページに内容を記載。）

各要望先からの応答などは、次ページをご覧ください。

◆環境厚生委員会の派遣結果報告・所管事務調査報告の概要

議長・町長による要望活動への派遣結果

県知事の応答

- ・統合中学校開校後の状況を見ながらの対応になるが、十分に問題意識は持っているので、新しい知事への引継も行う。

県警交通規制課の応答

- ・統合中学校開校後に交通量の実態調査を行ったうえで、信号機設置基準に基づいた対応を行う。
- ・町の通学路の安全対策を協議する場に、県警本部の担当者も参加させていただきたい。

秋田県公安委員会の応答

- ・県警と連携して対応を検討したい。

秋田県議会議長の応答

- ・子供の安全対策に関することなので、良い方向に進むよう後押ししたい。
- ・信号機の設置等については、予算的にも県として対応可能であろう。

県道能代五城目線と 県道森岳鵜川線の交差点



- ・押しボタン式信号を新たに設置すること

県道能代五城目線の 山本中学校入口交差点



- ・現在の押しボタン式信号機を半感应式信号機へ改善すること
- ・横断歩道を新たに設置すること

議長・町長の今後の方針

県警本部が、統合中学校開校後（令和8年度）に交通量調査を行うという方針であるため、町としては、「秋田県に統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を求める決議」に基づく要望活動は継続するが、その一部について、次のとおり変更する。

- ① 県の令和8年度当初予算に、交通量調査に関する経費を計上すること
- ② 交通量調査については、12時間交通量・24時間交通量の調査ではなく、登下校の時間帯に絞った調査とすること
- ③ 令和9年度の統合小学校開校には間に合うよう安全対策を行うこと

委員会の意見

要望活動は、一部を変更して継続されるため、引き続きその動向を注視していく。

令和7年 第1回臨時会

期日

令和7年1月21日（火）

報 告	令和6年度三種町一般会計予算の補正について	原案可決
単 行	工事請負契約の一部変更について（三種町立統合中学校校舎棟等建築工事）	原案可決

とどけ!

ぼくたち・わたしたちの

メッセージ



浜口小学校6年生の声

「最上級生として やってみたいこと」

- 開校150周年なので全校のみんなが楽しめる企画を考えたい。
- 活動委員会の委員長として進んで活動し、下級生を引っ張りたい。
- さつまいもの掘り取りなどを下級生に教えながら楽しみたい。

(取材：荒谷要伸、森山大輔)



はなしっこ
きがへえ下けれ～



まちかどインタビュー

Can I ask some questions?



しだ えつこ
信太 悦子さん (山本地域)

◇◆ プロフィール ◇◆

豊岡生まれ、豊岡育ち。戦前に祖父が開業した「信太酒店」を継ぎ、信太さんは3代目。



Q 議会だよりを読んでいますか？

A 読んでいます。

問 議会だよりは役立っていますか？

答 介護と仕事で社会参加できないので、議会だよりから行政の動きが知ることができて助かっています。

問 議会だよりの改善点・要望はありますか？

答 今のままで読みやすいです。
これからもよろしくお願いします。

～ 伝えたいこと ～

脳出血で倒れた夫の介護をして5年目に入りました。でも、町のサービスや支援を受けてなんとか頑張っています。

夫は知っている人が店に来られると、車イスでやってきて、とてもいい笑顔とジェスチャーでお迎えしています。

近くにいられたらぜひ立ち寄ってください。

(取材：遠藤勝昭)

編集

◆ 広報広聴委員会

委員長 三村 眞
副委員長 遠藤 勝昭
委員 森山 大輔
委員 児玉 儀広
委員 荒谷 要伸
委員 島山 勝巳

編集後記

議会の動きや議員の活動は伝わりにくいものですが、広報広聴委員会では、出来る限り見える化するよう努力しています。

議会だよりを通じて議会に少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。

荒谷 要伸 記

